MAZDA

2026 年 11 月 6 日

マツダ、広島港出島地区に「マツダ KD センター」を竣工

―広島からグローバル生産を支える、効率的で働く人にも配慮した物流拠点が完成―

マツダ株式会社（以下、マツダ）は、本日、広島港出島地区（広島市南区）に建設を進めてきた「マツダ KD センター」が竣工し、式典を執り行いました。マツダ KD センターは、マツダのすべての海外生産拠点に KD（Knock Down）部品（海外の生産拠点で車両を組み立てるための部品）を供給する物流拠点として、部品の集荷、保管、荷造り、海上輸送コンテナへの積み込みなどを行います。広島と世界の生産拠点を物流でつなぎ、マツダのグローバル生産を支える重要な役割を担います。



マツダ KD センター

新センターは、これまで広島港海田地区（安芸郡坂町）にあった KD センターを広島港出島地区へ移転するものです。出島地区では、国や広島県により国際海上コンテナターミナルの整備が進められており、船舶の大型化への対応など港湾機能の強化が図られています。新センターでは、こうした港湾機能を活用することで、海外生産拠点への部品供給のさらなる効率化と安定化を図ります。

また、新センターでは、物流の効率化と、物流に携わる人の安全性や働きやすさの向上を図っています。部品の格納や取り出し、パレット荷造りなどの工程を自動化するとともに、歩行者と車両の動線を分離し、施設内にはエリア空調を導入しています。さらに、サプライヤーから部品を運ぶトラックの入場管理を効率化するとともに、専任者がフォークリフトで荷下ろしを行うことで、作業時間の短縮とトラックドライバーの荷役負担の軽減を図っています。加えて、荷下ろし中に利用できるドライバー向けの休憩室も設置しています。屋根には容量 2.2MW の太陽光パネルが設置され、施設内の消費電力の一部を賄います。

竣工式では、マツダの経営役員 CSCO（最高サプライチェーン責任者）の鷲見 和彦が、次のように述べました。「広島で磨き続けてきたものづくりの力を世界へ届け、各国の生産拠点と一体となってお客様に価値をお届けする。その起点となるのが、この場所です。ここから送り出される一つひとつの部品は、単なる物流の流れではありません。世界中のお客様の期待に応え、マツダブランドへの信頼を築く一台一台へとつながっていきます。」

マツダは今後も、物流の効率化と安定供給、人や環境に配慮した物流基盤づくりを進め、グローバルなものづくりを支えることで、お客さまへの安定的な価値提供につなげ、選ばれ続けるブランドを目指してまいります。

■ マツダ KD センター概要

所在地	広島港出島地区（広島市南区）
敷地面積	約 55,000m^2（約 5.5ha）
建築面積	約 35,000m^2
着工	2025 年 4 月
竣工	2026 年 11 月
稼働開始	2027 年 1 月（予定）
主な機能	海外生産用部品の集荷、保管、荷造り、出荷

■関連ニュースリリース

・ マツダ、地域連携による再生可能エネルギーの導入を拡大
－カーボンニュートラルの実現に向けて、オンサイト PPA と蓄電池システムの導入を推進－
https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2026/202610/261030a.html

以　上